



ミライを描こう

WAKASA NURSING SCHOOL

公立若狭高等看護学院
2027 学院案内



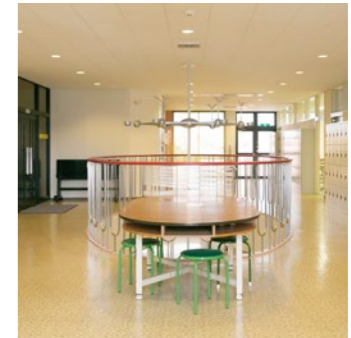
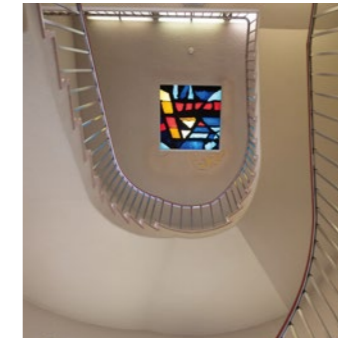
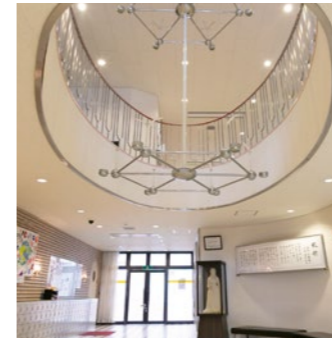
ADMISSION POLICY

入学者受入れの方針

夢の実現に向けての
第一歩を踏み出すために

本学院は次のような人を求めています。

1. 看護を学ぶために必要な基礎学力が身についている人。
2. 人間や社会に強い関心がある人。
3. 人を思いやる気持ちを持ち、他者と協調して人間関係を構築できる人。
4. 自分の思いや考えを、自分の言葉で表現することができる人。
5. 主体的に考え、自己の能力を高めるために持続的に学習できる人。
6. 将来、若狭地域の保健・医療・福祉分野に貢献したいという意思を有する人。



STUDENT VOICE

学生の声



地域に根ざした教育と、 丁寧な指導を通して

この春、私たち1年生は、看護師を目指す第一歩を踏み出しました。入学前は、専門的な学びについていけるだろうかという不安もありましたが、それ以上に、憧れていた看護の世界へ進める喜びで胸がいっぱいでした。この学院は、地域に根ざした教育と少人数制による丁寧な指導を通して、実践力と豊かな人間性を育むことを大切にしています。私たちもその理念を胸に、日々学びを深めています。また、同じ志を持つ仲間と出会い、互いに支え合いながら学べる環境をととても心強く感じています。わからないことに向き合い、一緒に考えながら成長していく時間は、かけがえのないものです。

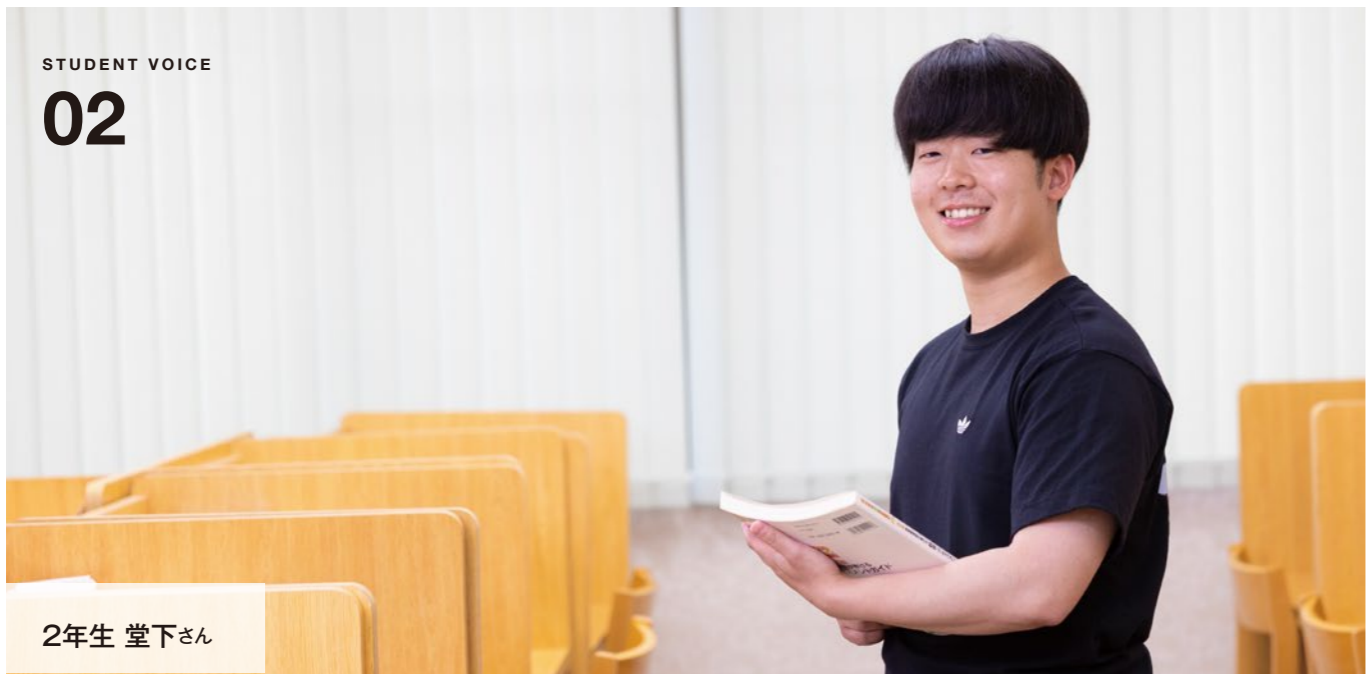
これから始まる実習には緊張もありますが、患者さんに向き合う学びが始まることへの期待も大きく、今は基礎を確実に身につけられるよう努力しています。将来は、患者さん一人ひとりの心に寄り添い、「あなたに出会えてよかった」と思っただけの看護師になることが目標です。感謝の気持ちと自分らしさを忘れず、一步一步着実に成長していきたいと思っています。

TIME SCHEDULE

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
起床・学校準備		通学	登校・授業準備	(解剖生理・基礎看護など)	午前授業		昼休み・友人と昼食		午後授業		放課後復習・課題確認	帰宅	夕食・休憩		(復習・予習・テスト対策)	自由タイム		就寝	

STUDENT VOICE

02



2年生 堂下さん

仲間と支え合いながら、地元を支える看護師へ

私は地元である小浜で、看護を通して人々の力になりたいと思い、公立若狭高等看護学院に入学することを決意しました。入学前はとにかく勉強についていけるか不安でした。入学後はクラスメイトと勉強方法を教え合いながら一緒に勉強し、なんとか難しいテストも乗り越えてきました。負けず嫌いの私にとってクラスのみんなの存在はとても良い刺激になりモチベーションにもなります。実習では患者さんを受け持たせてもらうこともあるのでとても緊張します。しかし他の実習メンバーが「みんな近くにいるから大丈夫!」と言ってくれて、仲間の心強さを感じます。私はこの学校に入学して同じ目標に向かい高め合える仲間と出会えたことが1番の財産だと思います。勉強に行き詰まったとき、1人では苦しかったときに一緒に頑張る仲間がいたからこそここまで来れたと思います。将来、地元である小浜を支えられるような看護師になるために、これからも精一杯頑張りたいと思います。

TIME SCEDULE

試験がない日																								試験がある日																							
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24										
起床・朝食・準備・登校				授業		昼休み		授業		帰宅・課題		随時		アルバイト (夕食はアルバイト先の 随時)		リラックスタイム お風呂・明日の準備・ リラックスタイム	就寝		起床・朝食・準備・登校		勉強		授業		昼休み		授業		帰宅して勉強		夕食・お風呂・ リラックスタイム		休憩や気分転換を挟む (1時間ごと)	勉強		就寝											

STUDENT VOICE

03



3年生 堀田さん

患者さんの言葉が大きな心の支え

私は入学前、勉強や実習についていけるだろうかという大きな不安を抱えていました。しかし、先生方の手厚い指導や、同じ目標に向かって頑張る仲間と切磋琢磨することで、それらを一つひとつ乗り越えることができています。看護に必要な知識や技術を習得することは決して容易ではなく、くじけそうになることも多々ありました。そんな時、実習で出会う患者さんからの「これからも頑張ってるね」や「ありがとう」という言葉が、私の大きな心の支えになっています。実習を通して、疾患だけに目を向けるのではなく、患者さんの生活背景や思いを理解し、常に相手の立場に立って寄り添うことの大切さを学ぶことができました。

将来は、患者さんに寄り添い、笑顔を届けられる看護師を目指しています。これから看護師を目指す皆さんも、自分の理想とする看護師像を大切に、一歩踏み出してほしいと思います。公立若狭高等看護学院での学びや経験は、将来の大きな力となり、自分自身を前進させてくれるかけがえのない財産になるはずです。

TIME SCEDULE

実習がない日																								実習がある日																							
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24										
起床・学校準備	朝食	自己学習・登校		授業		昼休み		授業		下校	夕食	お風呂	自由タイム	自己学習	自由タイム	就寝			起床・学校準備	朝食・登校			実習		お昼休憩		実習		実習記録の記載		夕食・お風呂	自由タイム	実習記録の記載	自由タイム	就寝												

CAREER PATH

卒業生の現在



小堂さん〈助産師〉
杉田玄白記念公立小浜病院 勤務

助産師として、家族のはじまりを支える

私が勤務している杉田玄白記念公立小浜病院では、主に妊娠・分娩・産褥期にある女性やその家族、新生児・乳幼児に対して、専門的な判断と技術に基づいた必要なケアを提供しています。また、助産師の大きな役割として、女性のライフサイクル全体を支えることも挙げられます。当院では、産婦人科に入院される方の看護はもちろん、ウイメンズ・ヘルスケアを通じて地域社会と連携した活動も行っています。

分娩の場面では、赤ちゃんが無事に生まれてくるまで常に緊張感と不安が伴いますが、「新しい生命の誕生」はご家族にとってかけがえのない瞬間です。特に、ご両親が生まれてきたばかりのわが子を抱き、幸せそうな表情をされている姿を見るたびに、助産師になって本当によかったと実感します。

学生時代には、緊張の中でも自分の意見や疑問を指導者に積極的に伝える姿勢を大切にしてきました。その姿勢が多くのご指導につながり、今の自分の成長に大きく寄与していると感じています。入職後もその経験は活かされており、先輩方や医師と積極的にコミュニケーションを図る力となっています。日々の業務では、知識の習得や、患者様に関する報告・連絡・相談を意識的に実践する姿勢の基盤になっています。今後も初心を忘れず、先輩方のような素敵な助産師になれるよう、自己研鑽を重ね、成長し続けていきたいです。

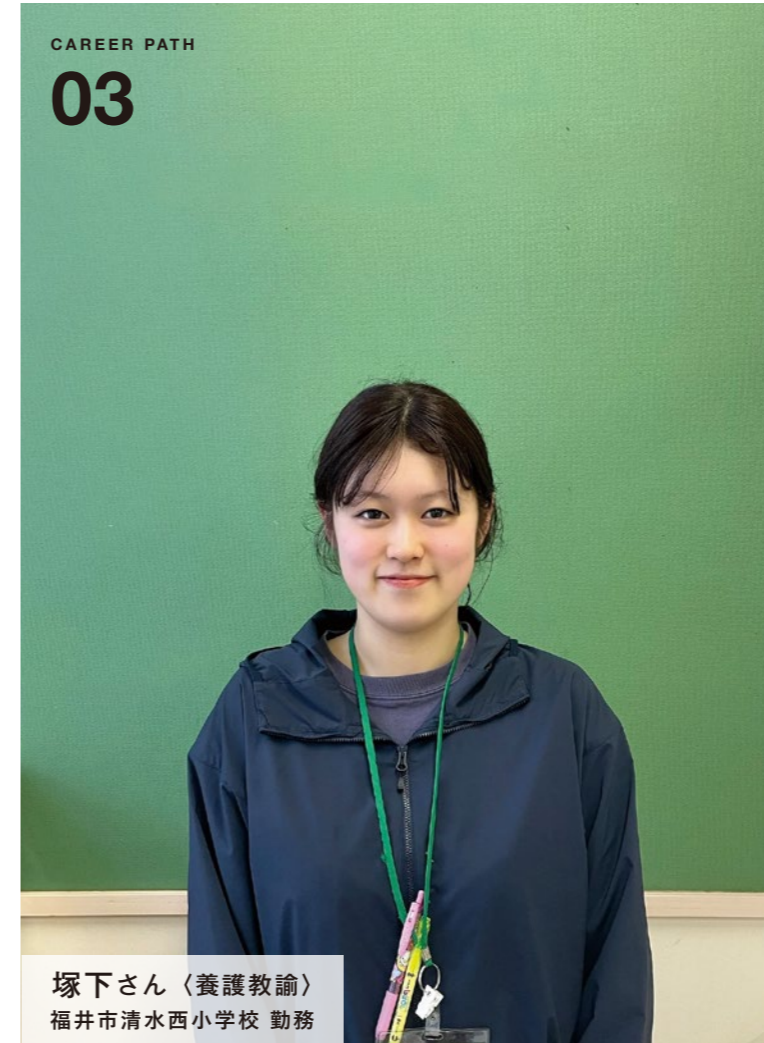


片山さん〈看護師〉
杉田玄白記念公立小浜病院 勤務

支えられ、支える立場へ

杉田玄白記念公立小浜病院の救命救急センターに配属され、4年目になります。急性期病棟での勤務は忙しく、患者さんの命を預かる責任の重さを日々感じています。ときには押しつぶされそうになることもあります。先輩方の丁寧な指導や励ましに助けられ、一人ひとりに合った看護を考え、実践できていると感じています。看護師として働く中で、患者さんやご家族から感謝されることはもちろんうれしいですが、患者さんの大変な時期に関わらせていただいている時が、看護師になってよかったと心から思える瞬間です。また、患者さんをより良い状態にしていきたいという共通の目標に向かって、仲間とともに頑張れる、サポートし合える職場で働けていることも、大きな働きがいになっています。

在学中、先生方がつらい時やうまくいかなかった時に寄り添ってくれたように、今後は私も、実習生や後輩が安心して働ける環境をつくれるよう努力していきたいと考えています。



塚下さん〈養護教諭〉
福井市清水西小学校 勤務

人と繋がることの楽しさを実感

私は現在、養護教諭として、保健室に来室する子どもたちへの対応や、全児童の健康状態の把握、毎月の保健目標に沿った健康教育や指導を行っています。日々、けがや体調不良を訴えてくる多くの子どもたちと関わる中で、来室時には元気がなくても、手当てや声かけを通じて表情が明るくなり、元気に下校していく姿を見ると、自分の関わりが子どもに良い影響を与えられたと実感でき、大きなやりがいを感じています。

こうした日々の実践の土台には、学生時代に学んだ「その人自身をよく見る」という姿勢があります。症状や病名にとらわれず、まずは目の前の相手を理解しようとする姿勢は、当時から大切にしてきたことです。その人をよく知ることで、本当に必要な支援や寄り添い方が見えてきます。この学びは、現在の養護教諭としての実践にも深く結びついており、子どもたち一人ひとりの小さな変化やサインを見逃さず、安心して気持ちを打ち明けられるような関係性の構築に活かされています。

学生時代の学びが、今もなお子どもたちに寄り添う姿勢の根幹となっており、日々の実践を支える大切な視点となっています。

RESKILLING

社会人入学生の声



RESKILLING

01

3年生 藤田さん

挑戦を後押ししてくれる仲間と、制度がある環境

入学前は、年齢の離れた同級生と打ち解けられるか不安を感じていました。しかし、その不安はすぐに解消され、授業や演習・実習を通して世代を超えた交友関係が生まれました。多くの仲間を支えられながら学ぶ日々は、多様な価値観に触れ、視野が広がりました。また、毎日が刺激的で学習意欲も一層高まりました。人々の健康を支え、地域医療の発展に貢献できる看護職者を目指し、学院外のセミナーやアカデミーにも積極的に参加しています。さらに、専門実践教育訓練給付金制度を活用することで、経済的な不安を抱えることなく学びを継続することができています。家族やクラスメイト、先生方の支えと充実した支援制度のもとで、学業と家庭の両立も実現しています。不安を乗り越えて踏み出した一歩が、今の自分の成長につながっています。ここには挑戦を後押ししてくれる仲間と制度があり、学習しやすい環境が整っていると思います。

TIME SCHEDULE

実習がない日																			実習がある日																			
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
勉強		朝の支度・朝食		通学・授業準備		授業		昼食		授業		勉強		買い物・帰宅	夕食準備・夕食	勉強	入浴、リラックスタイム	就寝		勉強		朝の支度・朝食		通学・実習準備		実習		昼食		実習		買い物・帰宅	勉強	夕食準備・夕食	勉強	入浴、リラックスタイム	就寝	



寺田さん〈看護師〉
市立敦賀病院勤務

子育てと両立しながら、目指した看護師への道

介護士として働く中で医療ケアへの関心が高まったことが、進学のかきかけでした。家庭と勉強の両立、そして往復2時間の通学に不安はありましたが、本学院は授業料の負担が少なく、「専門実践教育訓練給付制度」などのサポートも充実していたため、入学を決意しました。入学後は大変なことも多くありましたが、授業時間が決まってお長期休暇もあることで、子ども達の予定に合わせてながら計画的に取り組むことができました。また、給付金制度や奨学金を利用できたことで、経済的な不安を軽減しながら学業に専念することができました。そして、同じように社会人から入学した仲間や年齢の近い先輩、親しみやすい先生方の存在が大きな支えでした。特に実習やテスト、国家試験前は、クラスメイトや家族、先生方の励ましに何度も助けられました。「今から資格を取らなくても」と悩んだこともありましたが、今は看護師になれたことを誇りに思います。大変な3年間でしたが、自分で選んだ道だからこそ頑張ることができました。今は看護師としてスタートを切ったばかりですが、3年間で学んだ“患者さんの思いに寄り添う看護”を大切にしながら、一人前の看護師になれるよう努力していきたいです。

TIME SCHEDULE

在学中のタイムスケジュール（通常時）

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
起床	朝食	通学				授業					帰宅	夕食	子ども送迎	家事	子ども送迎・入浴	勉強・課題		就寝

在学中のタイムスケジュール（国試前）

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	28
起床	朝食	通学		学校や図書館で勉強		昼食		勉強		帰宅	家事	夕食	家事			勉強		就寝	

SCHOLARSHIP

奨学金制度について

SUPPORT 1 専門実践教育訓練給付金

社会人の学び直しを応援

社会人入学生のための強い味方です。支給対象に該当する方は、最寄りのハローワークに申請することにより、教育訓練給付金を受給することができます。

SUPPORT 2 公立小浜病院組合の修学資金制度

卒業後の就職も安心

卒業後、杉田玄白記念公立小浜病院をはじめとした公立小浜病院組合内の事業所で一定期間勤務することで、在学中の修学資金の返還が全額免除されます。

上記をダブルで利用して、自己負担を大幅に減らすことも可能です！

※このほか、福井県の「県内大学等への進学者応援事業」や卒業後に嶺南地域の医療機関に勤務することで最大150万円が支給される「嶺南地域看護職員確保・定着促進奨励金」などが利用できる場合があります。（各制度とも対象者限定）



※カリキュラムや学費については、
ホームページをご覧ください。

